

資料第2 目 次

第2回 検討小委員会 (R7.9.16)

項番	資 料 名
1	労働者側提出資料 「福井県紡績業、化学繊維、織物、染色整理業最低賃金」 最低賃金の改正の必要性について

2025年9月16日

労働者代表
UAゼンセン

「福井県紡績業、化学繊維、織物、染色整理業最低賃金」
最低賃金の改正の必要性について

1. 2025年度福井県地域別最低賃金について

金額	1,053円(+69円)
発効日	10月8日(水)

2. 特定(産業別)最低賃金について

特定(産業別)最低賃金は、最低賃金法によって定められる法定最低賃金のひとつで、特定の事業(産業)あるいは職業について設定される。

(1) 労働条件の向上

「労働条件の向上」が最低賃金制度全体の目的。しかし、賃金を含む労働条件は産業により大きく異なっているため、産業ごとの賃金実態を踏まえた審議により、ふさわしい最低賃金水準を決めることが必要。

(2) 公正競争の確保

「賃金の不当な切り下げの防止によって達成される」べき「公正競争の確保」も最低賃金制度全体の目的。しかし、賃金実態が産業ごとに大きく異なるため、地域別最低賃金のみではこれを確保できない産業が存在する。地域別最低賃金を上回る水準で特定(産業別)最低賃金を設定することにより、より高いレベルでの公正競争を確保することが必要。

他方、今後の労働力人口の減少下では、魅力ある産業としての賃金水準を労使のイニシアティブで決定していくという観点も重要。

(3) 労使交渉の補完・代替

本来、労働条件は労働者と使用者が、対等な立場において決定すべきもの。しかし、労働組合の組織率が2割を切る日本では、8割以上の労働者は自らの労働条件の決定に関与できない。設定の申請や金額決定に関係労使の参加が決められている特定(産業別)最低賃金は、企業別の「労使交渉を補完・代替」する役割を担っている。

(4) 健全な労使関係の構築

特定(産業別)最低賃金の決定には、地域における当該産業労使が積極的に関わる必要が必須となっている。これが「健全な労使関係の構築」に大きく貢献している。

【UAゼンセンの基本的考え方】(2025年5月)

1. 企業内最低賃金協定の再確認・再締結

法定最低賃金厳守に加え、物価上昇が継続しており、特に最低賃金近傍の組合員の賃金を少しでも引き上げる必要がある。また、地域別最低賃金の大幅な引き上げが行われるなかで、企業内最低賃金を適切な水準に維持することも欠かせない。

そのためにも、2025 労働条件闘争方針で決定した最低賃金要求基準に達していない場合は、再度企業内最低賃金の引き上げに取り組む。その内容は、集約システムで入力できるようにし、結果を 2026 労働条件闘争に活かす。

2. 在籍者賃金の引き上げ

最低賃金と在籍者賃金の差を適正に保つために必要な場合には、在籍者賃金引き上げを行う。その内容は、集約システムで入力できるようにし、結果を 2026 労働条件闘争へ活かす。

3. 繊維産業について

(1) 状況

国内繊維産業は現在、事業所数や就業者数は減少し、市場規模も頭打ちの状況となっている。また、今後人口減少が進むなか、このままでは市場拡大は難しい状況にある。

しかし、産業を世界的な視点で見ると、その需要は決して減退しているものではなくむしろ増加傾向にある。日本の独自の技術で、国際的な競争力を持つ企業もあり、海外市場に通用するブランド力をつけた企業も出てきている。そういった市場をしっかりと捉えていくためにも、優れた技術を発揮できる人材の確保・育成をして産業の発展につなげていく必要性がある。

福井県の繊維産業は、ナイロン、ポリエステルなどの合成繊維長繊維織物において現在でも日本有数の産地である。これまで幾度となく荒波が産地を襲うなかで、主生産品目を人造絹糸（レーヨン）、合成繊維（ナイロン、ポリエステル）と変えながら、日本有数の繊維産地として残っている。

✓ 長繊維（フィラメント）の合繊織物・編物（ニット）においては、全国の約4割が福井産地で、約9割が北陸産地で生産されている。

また、近年では国内外の高級ブランドとの取引も多く見られる。これは、高い技術を持ち、発注元の要望に柔軟に対応できる小規模企業が多いためである。

(2) 賃上げ

企業の経営利益は過去最高の水準で推移しており、内部留保は600兆円まで積みあがっている。加えて企業の人手不足感は引き続き強く、人材確保に向けた人へ投資については、多くの企業が積極的に捉えていた。一方でコストアップに対する価格転嫁については、エネルギーコストや原材料費においては、一定程度の進展は見られたものの、未だ十分とは言えず、とりわけ労務費の価格転嫁については、他の要素と比較しても進ん

でない状況である。

中小企業の持続的な賃上げのためには、適正取引によって賃上げの原資を確保することが必要不可欠であり、税制支援や助成金の拡充を含め、賃上げの環境整備を進める必要がある。

妥結水準の分布を過去3年の比較で見ると、今次闘争は過去2年よりも高い水準に分布しており、妥結の分布（四分位偏差）も前年と同程度となった。2023、2024闘争と続いた賃上げの流れを2025闘争でも継続するとともにさらなる賃上げを引き出し、妥結水準の格差拡大傾向にも一定の歯止めがかかったと言える。

4. 最後に

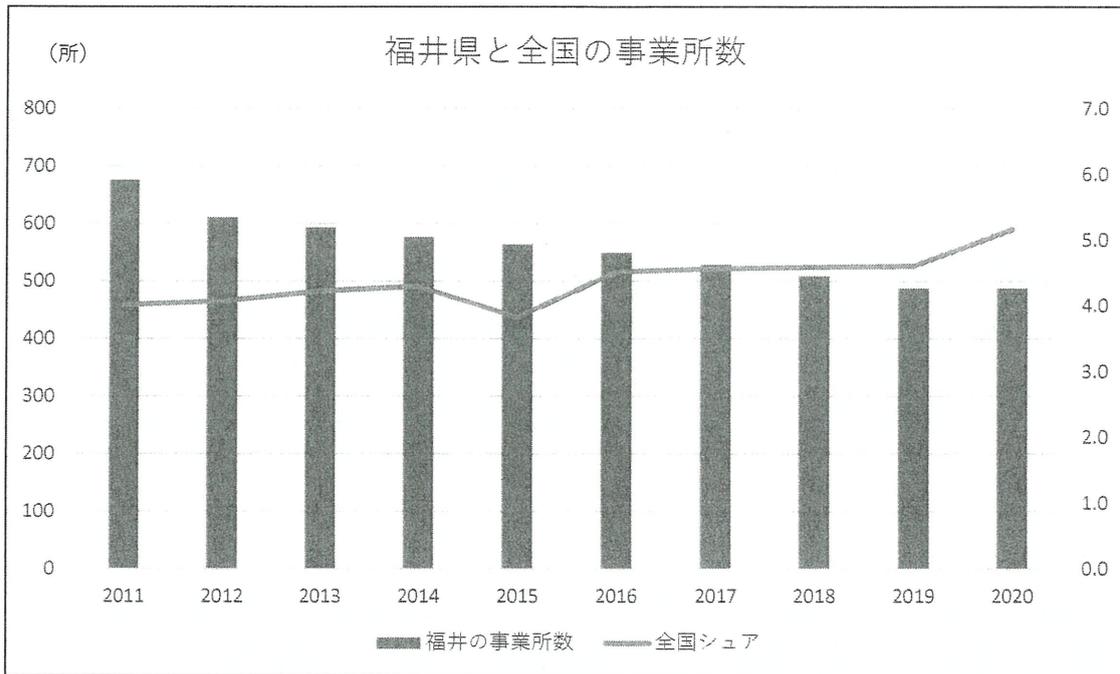
特定（産業別）最低賃金は、労働条件の向上または事業の公正競争をより高いレベルで確保し、産業ごとの企業横断的な最低賃金水準を決定する役割を果たしている。これは、地域別最低賃金との優位性確保が課題となるなかにあっても何ら変わることはない。

近年地域別最低賃金は、大幅な引き上げが続いており全国加重平均で1,000円を超えた。一方特定（産業別）最低賃金については、地域別最低賃金引上げペースに企業内最低賃金の引き上げペースが追いついていないこと等の理由から各都道府県で金額改正が難しくなってきた。

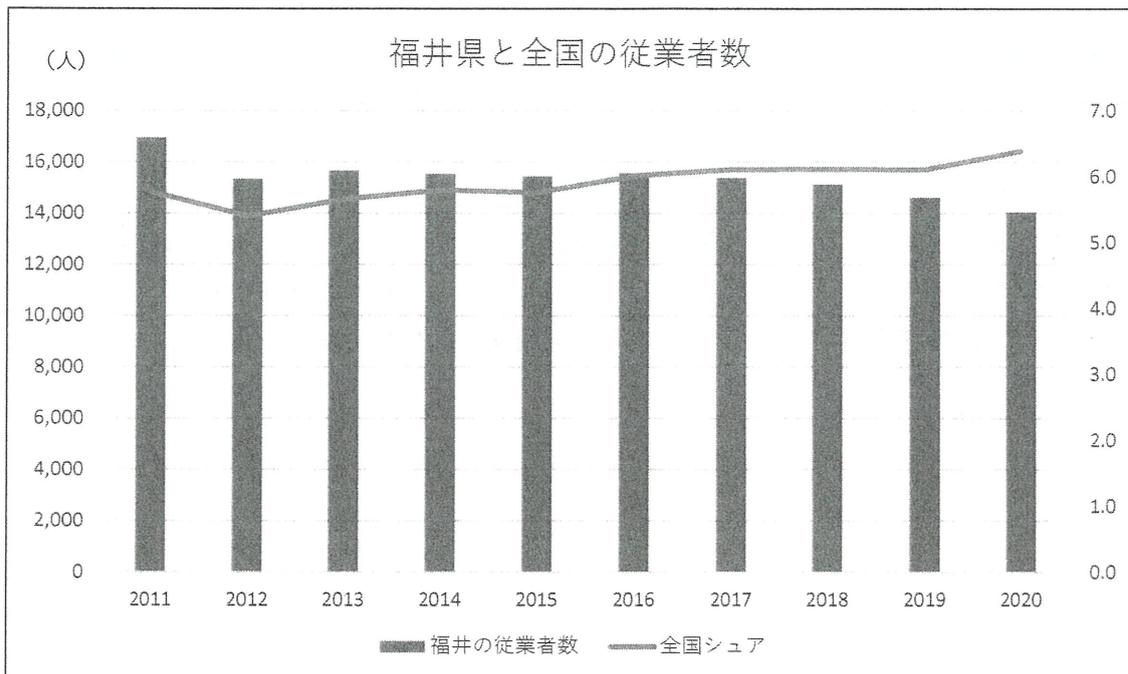
ただし、業界ごとの公正労働基準確立に向け労働組合のない企業に対しても適用できる法的な手段として特定（産業別）最低賃金の重要性は変わらない。公正競争が担保される環境情勢の必要性の高まりや産業構造の変化、労働力人口の減少に伴う産業間の人材確保競争の激化などを鑑みれば、むしろ特定（産業別）最低賃金の意義や必要性は高まってきている。

福井県の繊維産業は、これまで企業だけでなく大学、行政など関係組織と密接に結びつき、生産品目を変えながら粘り強く発展を続けてきた。今後も多くの技術蓄積がある福井という地域の強みを活かし、他分野とも連携しながら、新たな価値の創造へとつなげていくためにも、当該産業労使のイニシアティブ発揮に向けて、真摯な議論を尽くしていくことが重要。

以上



	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
福井の事業所数	676	611	594	577	564	550	529	509	488	488
全国の事業所数	16,850	15,010	14,048	13,430	14,745	12,171	11,582	11,087	10,586	9,448
全国シェア	4.0	4.1	4.2	4.3	3.8	4.5	4.6	4.6	4.6	5.2

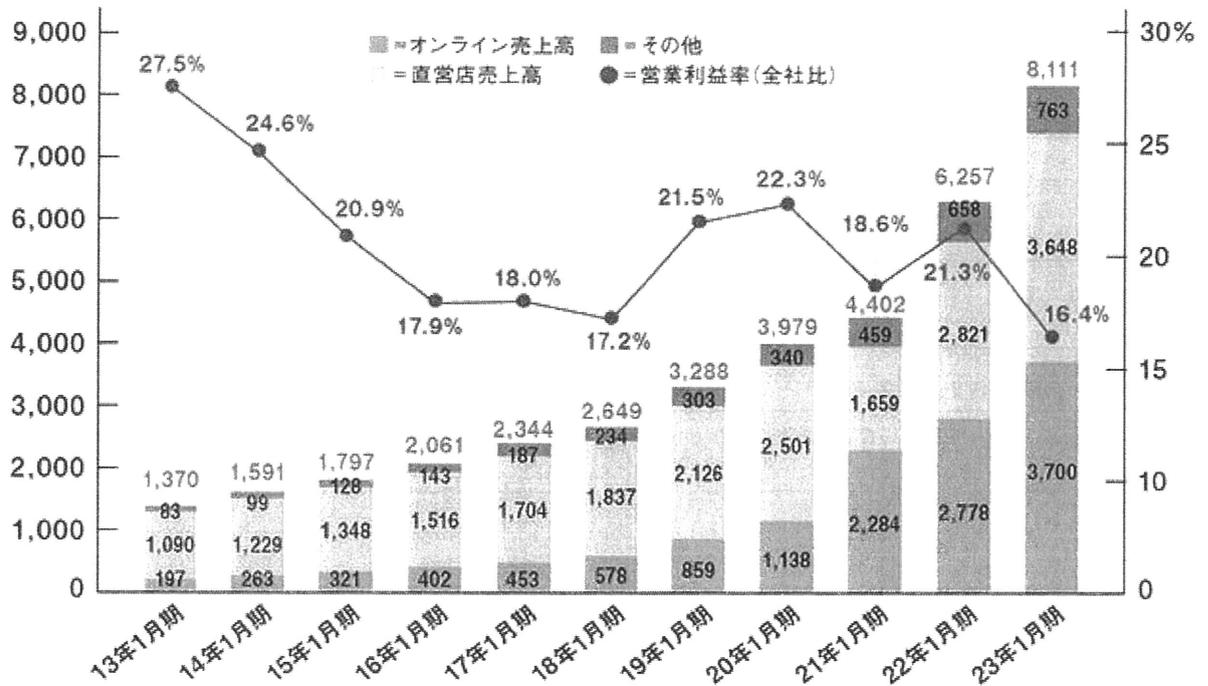


	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
福井の従業者数	16,942	15,338	15,668	15,540	15,442	15,567	15,391	15,137	14,611	14,053
全国の従業者数	293,983	283,983	276,854	268,135	268,299	258,823	251,923	247,591	239,139	219,843
全国シェア	5.8	5.4	5.7	5.8	5.8	6.0	6.1	6.1	6.1	6.4

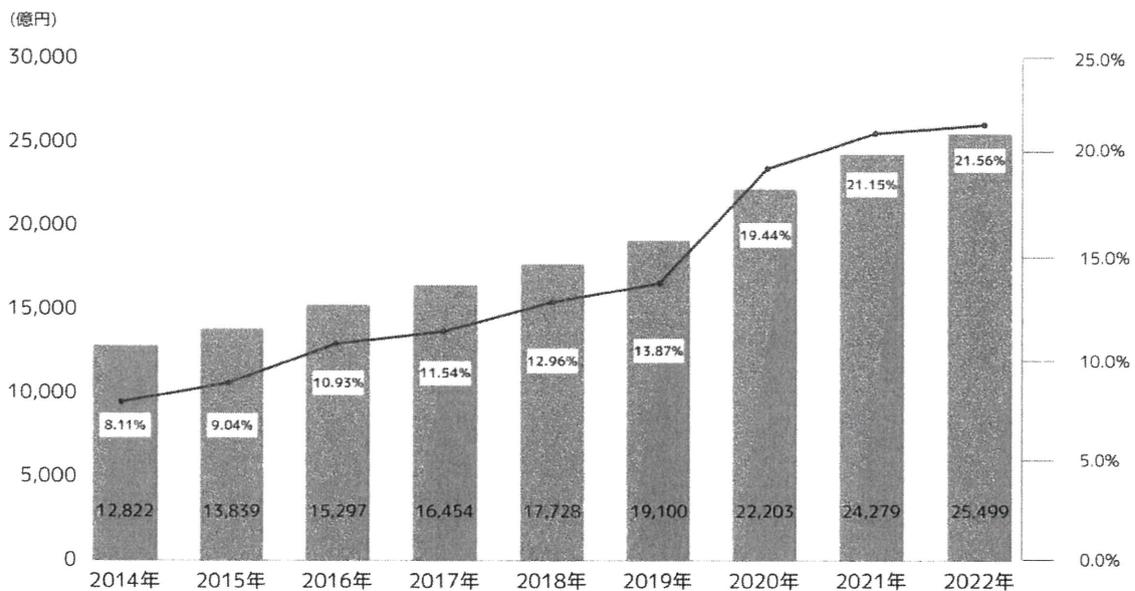
工業統計調査（経済産業省）＊2011年、2015年、2020年は経済センサス調査

2024年度世界アパレル専門店売上高

単位：100万ドル



アパレルECの市場規模の推移



※データ引用元：commerce Marketing Blog

【UAゼンセン】

〔平均賃金〕単純平均

部 会		要 求			妥 結		
			体系維持	引上げ分		体系維持	引上げ分
繊維素材	金額	15,874	5,445	11,279	11,806	5,460	8,136
	率	5.90	1.89	3.92	4.28	1.88	2.79
繊維加工	金額	14,686	3,641	12,753	8,187	3,735	7,457
	率	6.49	1.36	4.90	3.59	1.41	2.82
化 学	金額	16,947	4,834	12,757	13,646	5,028	9,145
	率	5.98	1.63	4.30	4.78	1.71	3.02
合 計	金額	15,836	4,640	12,263	11,213	4,741	8,246
	率	6.12	1.63	4.37	4.22	1.67	2.88

〔平均賃金〕加重平均

部 会		要 求			妥 結		
			体系維持	引上げ分		体系維持	引上げ分
繊維素材	金額	17,692	5,376	12,473	15,511	5,225	10,644
	率	5.80	1.73	4.03	5.07	1.69	3.44
繊維加工	金額	15,959	4,090	12,882	9,778	3,996	7,380
	率	6.38	1.50	4.82	3.93	1.46	2.74
化 学	金額	19,782	14,189	6,030	18,312	5,965	12,964
	率	5.96	1.78	4.18	5.46	1.75	3.78
合 計	金額	17,811	7,885	10,462	14,534	5,062	10,329
	率	6.05	1.67	4.34	4.82	1.63	3.32

【UAゼンセン福井県支部】

〔平均賃金〕単純平均

部 会		要 求			妥 結		
			体系維持	引上げ分		体系維持	引上げ分
繊維素材	金額	18,113	5,757	12,356	17,186	5,805	11,381
	率	5.86	1.86	4.00	5.56	1.88	3.68
繊維加工	金額	14,097	3,363	13,372	8,223	3,510	5,779
	率	6.28	1.50	5.95	3.66	1.56	2.57
化 学	金額	18,134	5,829	12,305	19,719	5,559	14,160
	率	5.90	1.89	4.00	6.41	1.81	4.60
合 計	金額	16,781	4,983	12,678	15,043	4,958	10,440
	率	6.01	1.75	4.65	5.21	1.75	3.62

〔平均賃金〕加重平均

部 会		要 求			妥 結		
			体系維持	引上げ分		体系維持	引上げ分
繊維素材	金額	18,706	5,757	12,356	16,709	5,787	10,922
	率	6.06	3.73	4.00	5.41	1.87	3.54
繊維加工	金額	16,005	3,787	12,818	8,910	3,935	5,221
	率	7.13	1.69	5.71	3.97	1.75	2.32
化 学	金額	18,134	5,829	13,508	19,265	5,612	13,653
	率	5.90	1.89	4.39	6.26	1.82	4.44
合 計	金額	17,615	5,124	12,894	14,961	5,111	9,932
	率	6.36	2.44	4.70	5.21	1.81	3.43